



KOUDAI SENGA

シーズン奪三振率(11.33)球界記録保持者

【せんが・こうだい】

1993年1月30日生まれ。愛知県出身。187 cm 89 kg。右投左打。背番号 41。愛知県立蒲郡高校から2011年に育成ドラフト4位指名でソフトバンクに入団。2017年に自己最多の13勝を挙げ、最高勝率のタイトルを獲得。2018年に自身初の開幕投手として登板。同年8月にプロ入り初完封を挙げた。2019年の開幕戦で自己最速のMAX161 km/hを記録。同年9月に令和初・育成出身者初のノーヒットノーランを達成。リーグ最多227奪三振を記録し奪三振王のタイトルを獲得した。2020年に育成出身では初の投手3冠を達成。「おぼけフォーク」と呼ばれる変化球をもつ。東京オリンピック金メダリスト。【通算】202登板、76勝38敗、945投球回、1096奪三振、防御率2.69、勝率.667。

**柳田** 僕はただただ楽しくやっていたから、考えながらやっていたらもつと上手くなれてたと思う。素振りなどの基本はもちろん、上手くなりたいという考えや気持ちをもって練習してください。

**千賀** 柳田選手と同じで、どうやって

平島 煌二さん(金田義務7年2組) 中学生の時、どんな練習をしていましたか。

佃 千尋さん(伊方小6年2組) プロ野球選手になるために、小学校6年生の時にどんなことをしていましたか。



↑内容と名前を書いたボードを持ち質問する伊方小の仲島優真さん。



「結局最後は自分自身が、壁を乗り越えていくしかない。夢や目標の実現には、人一倍思いを強くもつことが大事」

「常に成長し続けたい。同じ失敗を二度と繰り返さない。その失敗に気づけた時点で、人はすでに一歩成長している」

仲島 優真さん(伊方小6年1組) (柳田選手へ)打球のスピードをあげるにはどうしたらいいですか。

林 彩羅さん(上野小6年1組) 千賀投手へ)ピッチャーとして球速を上げるためにどんな練習をすればいいですか。

柳田 まずは、素振りをしっかりとすることです。スイングスピードは上がりませんが、あとは、体を大きくしないと打球は飛ばないので、給食を8人分くらい食べる(笑)。吐くくらい気持ちいい食べまわってバットを振りまわろう。

千賀 体重があればあるほど速い球を投げられると思うから、まずはしっかり食べて、寝て、体を作ることが大事です。今日は全力で5球投げられた、次は10球投げられるよう頑張るなど、ただ回数こなすのではなく、質をどれだけ上げるかが重要ですよ。

柳田 野球のルーティンは特にないですが、一年中、朝起きたときにキンキンに冷えた水で顔を洗い、キンキンに冷えた水をがぶ飲みします。

千賀 登板前は、シャワーは浴びてもお湯には浸からないと決めてます。体が温まりすぎると、筋肉が柔らかくなりすぎて逆に力が出ない感じがしたから。力を最大限に出すために心がけています。

伊藤 真南人さん(金田義務7年1組) 何かルーティンがありますか。あればどんなことですか。

柳田 朝のルーティンや勝つためのルーティンを教えてください。

大本 凌虎さん(金田義務6年1組) 朝のルーティンや勝つためのルーティンを教えてください。



YUKI YANAGITA

トリプルスリーと首位打者の球界初同時達成者

【やなぎた・ゆうき】

1988年10月9日生まれ。広島県出身。188 cm 87 kg。右投左打。背番号9。広島商業高校から広島経済大学を経て、2011年にドラフト2位指名でソフトバンクに入団。2015年に球団初の「トリプルスリー」(打率3割、30本塁打、30盗塁以上)を達成。打率.363を残し、首位打者も獲得した。2015年と2020年にリーグMVPを獲得。特徴は「フルスイング」。東京オリンピック金メダリスト。【通算】1138試合、1259安打、214本塁打、691打点、156盗塁、打率.319。愛称は「ギータ」。

# 主砲とエースが語る 夢への走塁

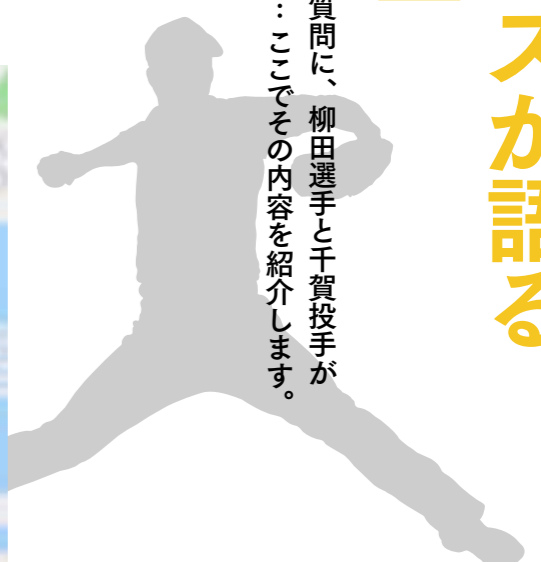
各クラス代表の15人が投げた熱い質問に、柳田選手と千賀投手がみんなの胸に投げ返した言葉とは…ここでその内容を紹介します。

柳田 試合前はどんなことを考えて試合に臨んでいますか。

中山 庵里さん(弁城小6年1組)

柳田 毎試合前はドキドキしています。常に緊張感を持って試合に臨み、時には栄養ドリンクを飲んで気合を注入しています。

千賀 とにかく準備しておくことが大事です。ものすごい集中力が必要なので、スイッチを完全に入れるのはマウンドにあがったとき。オンとオフをしっかりと分けて臨んでいます。



夢の時間を再現! — 子どもたちの10の質問 —